

図書館のホームページ紹介

附属図書館情報管理課システム管理係長

瓜 生 照 久

E-mail: uryu@net2.nagasaki-u.ac.jp

1. はじめに

当館では1996年6月24日から正式にWebサーバを立ちあげました。当館ではこれを「電子図書館機能への入口」と考えており、随時発展させて行く予定です。

URL <http://www.lib.nagasaki-u.ac.jp/>

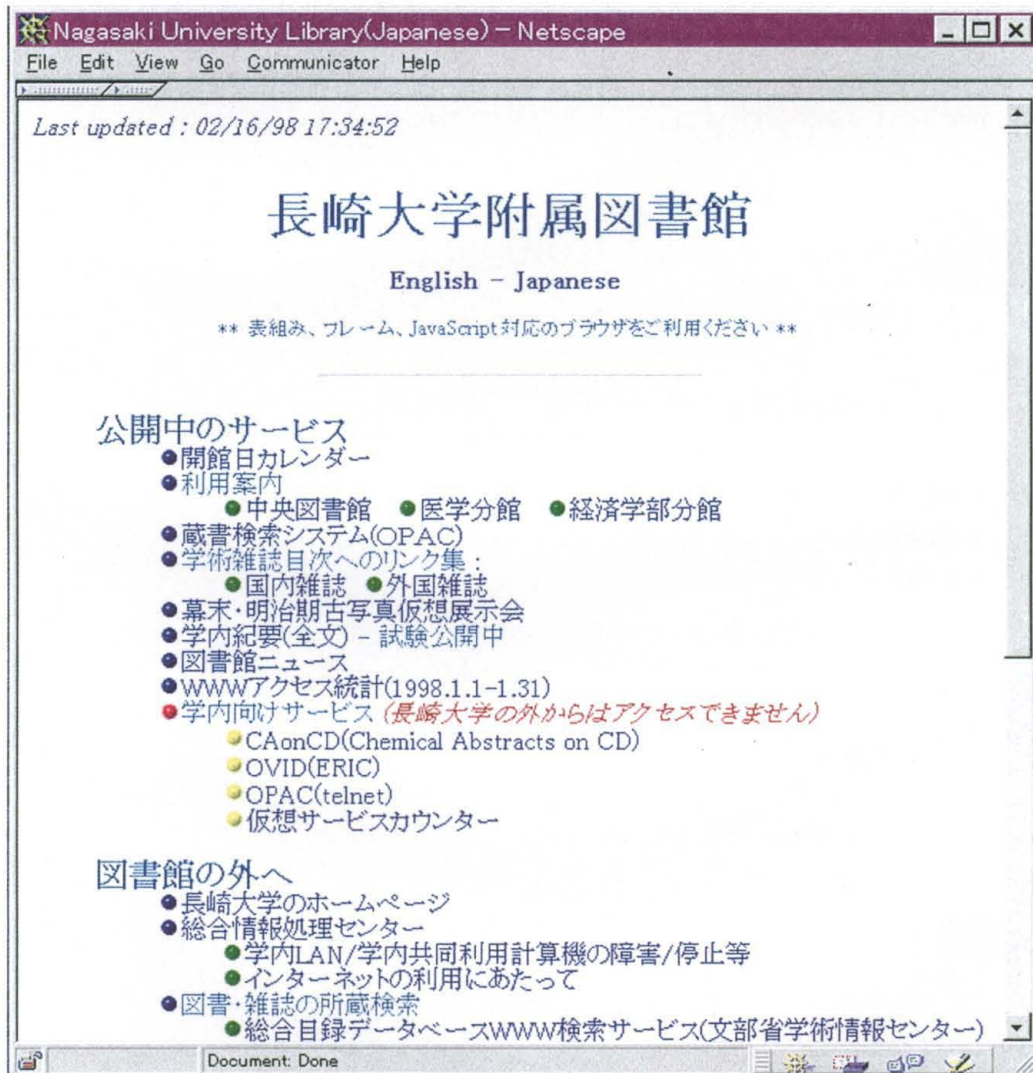


図1 <http://www.lib.nagasaki-u.ac.jp/index-j.html>

2. ホームページ内容の紹介

当館で作成する「ページ」は大きな画像の使用を控えるなどファイルサイズを小さくし、読み込みを軽くするように配慮しています。また、最近ではMosaicに代わってNetscape NavigatorやInternet Explorerなどの新しいブラウザが普及し、利用の大多数を占めていますので、見栄え/操作性を良くするためにHTML3.0に準拠したタグやJAVA Scriptを一部に使用しています。

では、主な内容を紹介いたします。

①蔵書検索システム(OPAC)

The screenshot shows a Netscape browser window titled "LIMEDIO Library Materials Search - Netscape". The address bar shows the URL "http://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/limedio/search-j.html". The browser's menu bar includes "File", "Edit", "View", "Go", "Communicator", and "Help". The main content area has a title "図書館資料検索" (Library Materials Search) and a sub-header "検索条件を指定してから検索ボタンをクリックしてください。" (Please specify search conditions and click the search button). Below this are three buttons: "検索" (Search), "条件クリア" (Clear Conditions), and "メニューへ" (To Menu). The search criteria section includes radio buttons for "検索対象" (Search Target) with options "全部" (All), "図書" (Books), and "雑誌" (Magazines); and "和洋区分" (Japanese/Western Classification) with options "全部" (All), "和書/和雑誌" (Japanese Books/Magazines), and "洋書/洋雑誌" (Western Books/Magazines). Under "検索条件" (Search Conditions), there are several fields: "書名/誌名" (Title) with a dropdown menu set to "すべて" (All) and a text input; "著者名/編者団体名" (Author/Editor Name) with a dropdown menu set to "すべて" (All) and a text input; "出版社" (Publisher) with a text input; "請求記号" (Call Number) with a text input; "ISSN" with a text input; "キーワード" (Keyword) with a dropdown menu set to "すべて" (All) and a text input; "出版年" (Publication Year) with a range input; "ISBN" with a text input; and "新着図書" (New Arrivals) with a text input and a label "日以内" (days within). At the bottom of the form are two buttons: "検索" (Search) and "条件クリア" (Clear Conditions). The footer contains the copyright notice "Copyright (c) 1994, 1997 Ricoh Company, Ltd. All rights reserved." and a status bar showing "Document: Done".

LIMEDIO Library Materials Search - Netscape

File Edit View Go Communicator Help

操作方法へリンク

図書館資料検索

検索条件を指定してから検索ボタンをクリックしてください。

検索 | 条件クリア | メニューへ

検索対象: ☐ 全部 ☐ 図書 ☐ 雑誌
和洋区分: ☐ 全部 ☐ 和書/和雑誌 ☐ 洋書/洋雑誌

検索条件:

- 書名/誌名: 以下の「すべて」を含む
[]
- 著者名/編者団体名: 以下の「すべて」を含む
[]
- 出版社: []
- 請求記号: []
- ISSN: []
- 以下の条件は雑誌の検索では無視されます。
 - キーワード: 以下の「すべて」を含む
[]
 - 出版年: [] ~ []
 - ISBN: []
 - 新着図書: [] 日以内

検索 | 条件クリア

Copyright (c) 1994, 1997 Ricoh Company, Ltd.
All rights reserved.

Document: Done

図2 <http://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/limedio/search-j.html>

既にご存知とは思いますが、OPACとはOnline Public Access Catalogの略で、学内に所蔵している図書と雑誌の所在を検索する機能です。図書館システムの更新(1997年2月)以降、ブラウザで利用することが可能になっています。学内からのみtelnetでも検索も可能です。

現在、雑誌全点、図書については原則的に昭和61年度以降に購入・寄贈された資料が登録され、検索対象となっています。電子図書館機能の基礎になるデータですので、それ以前に受入した資料の電算機入力を鋭意進めています。しかし、全蔵書をOPACで検索可能とするのには、もう少しばかり時間がかかりそうです。

また、一部の学術雑誌について、最新号の目次情報を提供できるよう準備を進めています。将来的な課題として、Current Contents等の二次情報データベースによる論文単位の検索と、OPACによる資料単位の検索機能の融合を考えて行きたいと思っています。

この他にも、他大学等の所蔵を検索するためのリンクを用意しています。全国の大学図書館等の所蔵が検索できる「総合目録データベースWWW検索サービス(文部省学術情報センター)」、OPACを公開している大学図書館のリストである「日本国内図書館OPACリスト(農林水産研究情報センター)」、新刊情報が検索できる「TRC(株)図書館流通センター」、「トーハン」などがありますので、こちらの方もご利用ください。

②幕末・明治期古写真仮想展示会

当館の目玉商品の一つであり、当館のページの中で利用数が一番多いページです。幕末から明治期に撮影された長崎を始めとする日本各地の写真や人物の写真約100点をブラウジングすることが可能です。統計を見る限りでは学内より学外からの利用が圧倒的に多く、また地元自治体等からのリンクもあり、対外宣伝としては成功しているものと思われます。

平成9年度の文部省科学研究費により全所蔵の半数、約2500点の電子化が認められましたので、現在学内の教官各位のご協力によりデータベース化が進行中です。

③紀要／図書館ニュース

学内で刊行されている紀要の全文をインターネットで公開しようとするプロジェクトです。現状は医学部で発行される「Acta Medica Nagasakiensia」と「図書館ニュース」をテストケースとして単にHTML化したものにすぎません。来年度は、①HTML以外の形式でのテスト、②検索機能の付加、③収録誌を増やししながら実験を拡大、などを行う予定です。現在、次年度に引き継ぐためのシステムの仕様(案)やデータ登録のための体制作りを検討しています。

④学術雑誌目次へのリンク集

本学で購読されている学術雑誌を中心に、目次情報へのリンクを収集したもので、意外にも学外からの利用が多いようです。SINETの対米国回線も45Mbpsと高速になっていますので、以前に比べて国外のサーバも快適に利用できます。

このリンク集は過去に行っていた「コンテンツサービス」の延長／代替として考えています。サーバの公開以降も随時拡充を行い、現在では1000を超えるタイトルを参照することが可能になりました。しかし、何分にも担当者がOpenText等の検索エンジンや出版社のホームページを利用して1タイトルずつ探し出して登録しているので、全購読タイトルには程遠い状態ですが、随時拡充して行く予定です。URL変更や新URLを発見されましたらご一報いただければ幸いです。当館で収集したリンク以外に、「学術雑誌へのリンク集(北海道大学図書館)」、目次の検索が無料でできる「UNCOVER」などへのリンクもトップページに用意しております。

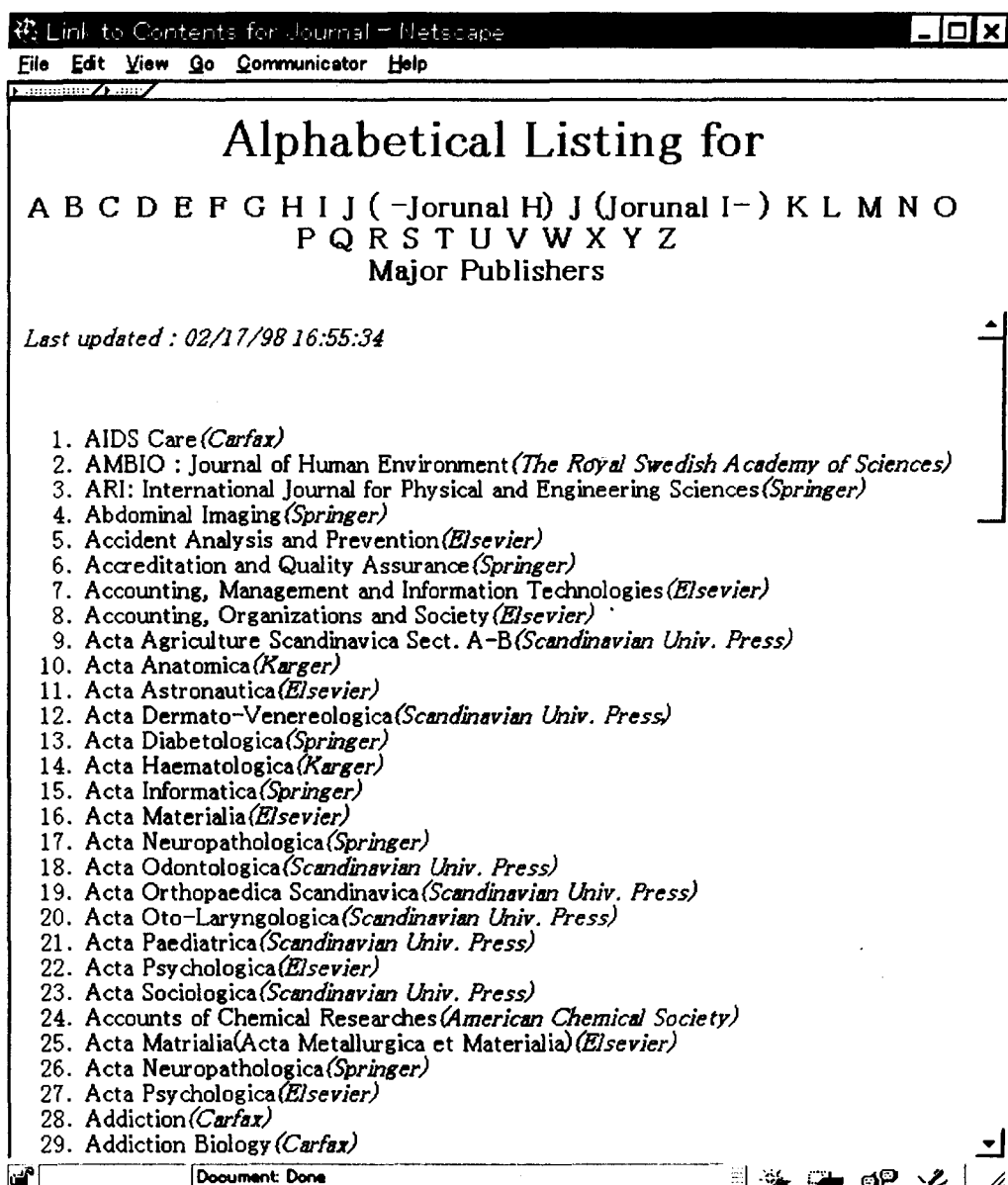


図3 <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/journals/journal.html>

⑤利用案内

中央館、医学分館、経済学部分館の利用案内です。図書館ご利用の前に一読下さい。この他、各館の開館スケジュール「開館日カレンダー」を用意しています。

この他、九州地区の国公立大学へのリンクを用意しています。帰省／学会／出張等で訪問される際は、予備調査にご利用ください。

⑥その他

当館で利用可能なCD-ROMデータベース等の案内、九州の放送局、国内／海外の新聞社、コンピュータ関係、国内の電子図書館プロジェクト等各種取り揃えております。

3. 運用体制について

WWWサーバは、館内に設置されている富士通のUnixワークステーション(S-4/10H)の上でNCSA製のhttpdを動かしています。サーバの立ち上げに際し、総合情報処理センターの皆様にご協力をいただきました。この場を借りてあらためて御礼を申し上げます。

さて、サーバの運用／管理及びコンテンツのメンテナンスは、主に情報管理課システム管理係(定員1名)が半ばボランティア的に行っています。しかしながら、一係で全コンテンツの面倒をみることは困難です。このため、館員全員がHTMLファイルを作れるように、自習用ビデオやHTMLエディタを購入して簡単にホームページが作れるような環境整備を行い、さらに勉強会を開催し図書館員個人の資質向上をはかりました。

この他、「インターネット広報ワーキンググループ」、「電子図書館機能推進ワーキンググループ」を組織しました。ここでは、電子図書館化に対応する図書館組織とするための規則／要項の制定、電子図書館機能(=今後のWebでのサービスの内容の検討)を行っています。電子図書館機能の一部であるコンテンツ整備が図書館業務の一つとして成文化／明確化されることにより、Webを利用したサービスの一層の拡大／向上がはかれるものと期待しています。

なお、残念ながら、要項については現在検討中につき掲載することができません。出来上がり次第、ホームページ等で公開したいと考えています。

4. 今後の展開 - 「おわりに」にかえて

1998年4月1日から電子図書館機能の充実を目的として「研究開発室」が設置されることが決定しています。ここでは、当面は前述の「古写真」と「グラバー図譜」のデータベース化を中心とした活動を行う予定ですが、当館の電子図書館化は加速度を増すことになります。併行して、図書の所蔵の遡及入力、紀要等のデータベース化、双方向性を生かした各種申込手続きの電子化、情報提供のためのリンク整備を中心にサービスの拡大をはかって行く予定です。しかし、現行サービスをそのままに新たに電子図書館的サービスを加えることは極めて困難です。現在、館内においては図書館の業務全体の見直しに着手しておりますが、既存のサービスの見直しも避け得ない状況です。利用者各位には、このような状況をご理解をいただき、一層のご利用／ご支援をいただきたいと存じます。